

第 2 1 期 <2014.10.1 ~ 2015.9.30> 活動計画 (案)

今期の活動の重点

21期の活動テーマは、古材文化の会を古民家や町づくりを担う組織と活動へと発展させる事です。併せて、認定特定非営利活動法人の特典を活かし「歴史ある建物を守る市民基金(仮称)」の具体化を検討します。

また、連携する団体等を探り、東日本大震災の復旧支援に取り組みます。

- ①「残したい建物を見守るシステム(仮称)」の試行を発展させ、「木造建築サポートセンター」の構想の具体化に取り組めます。
- ②利用相談部会ならびにKOMOの活動により、古建築の保存・活用に対する支援や文化財登録を推進します。
- ③古建築や再生建築の良さを市民等に普及啓発する活動を企画部会を中心にを行います。広報活動を強め、会の活動と理念への理解を広げます。
- ④「京都市文化財マネージャー育成講座(建造物)」及び「京都市文化財マネージャー上級講座」を事務局団体として継続開講します。
- ⑤会員の相互交流や国・地方行政機関を含む関連団体との連携や相互理解に努めます。

部会等の活動計画

(1) 利用相談部会

- ①建物の保存・再生や古材利活用等に関する助言、提案を行います。
- ②歴史ある建物調査室やKOMOをはじめ、各地の会員とも協力し、保存・再生に関する提案の充実に努めます。
- ③実例をとおして、再生に関する勉強会、見学会を行います。

(2) 企画部会

引き続き企画部会は一般の人が参加しやすい企画を検討、実施します。

21期の活動予定は以下のとおりです。

- ①先達の口伝、全国集会を開催します。
- ②古建築や文化遺産を訪ねる見学会を開催をします。(2回)
- ③古材のリユースと建物のメンテナンス技術を実習によって学ぶワークショップ「住まいの学校」を開催します。(3回)
- ④普及啓発に関する催事や印刷物発行を企画します。(随時)
- ⑤旧甲乙塾のような多年度に渡り実践を通じて学ぶ講座の開催を検討します。(汗をかくシリーズ=企画案として門、中門改修と庵庭園整備)
- ⑥門、中門改修費用捻出を兼ねてフリーマーケットを開催します。
- ⑦企画部会の活動方法及び経費について検討し、ルール化を図ります。

(3) KOMO = 古材文化の会伝統建築保存・活用マネージャー会

- ①KOMOから生まれる自発的なプロジェクトが、建物の持続的な保存・活用につながり、さらには地域のまちづくりに発展していくことを目指します。現在の自発的プロジェクトはおおさかKOMO、古文書同好会です。

- ②「KOMO フェスタ」を実施し、メンバー相互の活動の共有や、相互研鑽できる場とします。
- ③積極的に参加してくれる仲間を増やし、古材文化の会の他の活動への参加者も広げていきます。
- ④「京を彩る建物や庭園」の認定に向けての調査・報告書の作成業務を、引き続き京都市より委託を受けて行います。
- ⑤「見守るシステム」について、保存活用の提案や設計、また実際に活用するなどのプロジェクトを進めます。
- ⑥ヘリテージマネージャーの全国組織への対応を引き続き行います。
3年後に建築士会全国大会に伴う全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会・総会・全国大会が京都で行われる予定です。それに向けて、京都府建築士会の伝統建築研究会(DKK)と協力し、準備やさまざまな企画を行います。
- ⑦文化財マネージャー養成講座の運営サポートを引き続き行います。
文化財マネージャー受講者を対象にスキルアップ見学会を実施します。

(4) 歴史ある建物調査室

- ①登録文化財や景観重要建造物の申請に関わる調書作成や、市町村からの委託調査を行います。

(5) 年輪年代学研究所

- ①建物の科学的な保安全管理に必要な使用木材の同定や年代判定の必要性を所有者や市町村に啓発します。
- ②文化財建造物等の解体修理に伴う委託調査を働きかけます。

(6) プロジェクト

◆「残したい建物見守るシステム（仮称）」

- ①「残したい建物見守るシステム（仮称）」の試験運用の対象建物を増加させ、1年間の成果と反省をまとめます。
- ②「歴史ある建物を守る市民基金（仮称）」の検討を行います。

◆第3期京都市文化財マネージャー上級講座（建造物）

- ①「京都市文化財マネージャー育成実行委員会」の主催で、「第3期京都市文化財マネージャー上級講座（建造物）」を開催しています。
- ②第3期上級講座は平成26年9月から27年8月の1年間で、評価・判定コース1名、保存・活用コース4名の計5名が講座に参加しています。

◆第7期京都市文化財マネージャー育成講座（建造物）

- ①「京都市文化財マネージャー育成講座（建造物）」の第7期を開催します。引き続き、会が育成講座の事務局を担当します。
- ②講座各期の修了者との交流・連携・スキルアップを図ります。

(7) 情報広報活動

- ①会報「古材文化」の内容の充実を行います。
- ②ホームページを充実させ、会員の情報ネットの拡充を行います。
- ③会のMLによる情報提供を充実させます。
- ④他団体との情報交換を強化します。

(8) 啓発活動・人材養成等の催事計画

古民家や古材の再利用、再活用の啓蒙に関する行事や伝統的木造建築技術を学ぶ体験型の講座などを開催します。

- ①歴史ある建築や文化遺産を訪ねる見学会 2回
- ②第20回全国集会 1回
- ③住まいの学校（1回で1講座） 3回
- ④先達の口伝 シリーズ1回
- ⑤KOMOFESTA 1回
- ⑥汗をかく実践講座 開催に向けて検討

* 第7期京都市文化財マネージャー育成講座（建造物）1回 事務局担当

* 第3期京都市文化財マネージャー上級講座（建造物）1回 事務局担当

(9) 会 議

- ・総 会：2014年11月16日（日）15:30～ 京都市右京区
仁和寺御室会館 2F大広間
- ・理 事 会：5回開催（3ヶ月間隔で開催）
- ・部会とKOMO：12回開催（毎月開催）
- ・会員及び登録マネージャー等によるプロジェクトを随時行います。

認定特定非営利活動法人 古材文化の会

〒605-0981 京都市東山区本町 17 丁目 354 番地

TEL 075-532-2103 FAX 075-551-9811

e-mail : kozaibunka@ybb.ne.jp

ホームページ <http://www.kozai.or.jp/>